

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議への家族の参加が少なく、家族からの意見もあまり見られない。	「家族会」や「運営推進会議」への家族の参加を促し、より多くの家族と意見交換を重ねることによって、その意見等を利用者のサービスの質の向上に反映させることができる。	家族の参加しやすい曜日や時間帯を考慮した家族会開催計画を立てる。また運営推進会議の日程をご家族へお知らせし、委員以外の家族の参加も促す。	12ヶ月
2	8	事業所にあるエレベーターの押しボタンにカバーを設置することについて、ご家族全体の意見を聞いていない。	エレベーターの押しボタンにカバーを設置した経緯についてご家族全体にお話しし、入居者の現状についてご家族と共通理解を築く。ご家族の意見を伺うと共に、カバーの設置が必要最小限で済むような方策について(最終的には撤去ができるよう)ご家族の意見等も参考にしながら検討する。	家族会の場においてエレベーターの押しボタンの件について説明し、ご家族の意見を伺う。カバー設置が必要最小限で済むような方策について職員同士で話し合いを重ねる一方、ご家族に入居者が落ち着くヒント(本人が好む役割・関心事等)を頂いたり、事業所側からご家族に協力してほしい事項についてお伝えする。	12ヶ月
3	11	一人で利用者全員を見守らなければならない時間帯(夜勤時等)に転倒事故等が発生しないかどうかの不安を職員は抱いている。	職員の心配事や不安等を個別に聞き、職員が安心して業務に取り組むことができるような体制を築く。	ミーティングや職員個別の話し合いを通して、不安な時間帯を減らすために勤務体制を調整したり、または入居者が安心して過ごせるよう、ご本人の日中の過ごし方や支援方法の改善について職員と話し合う。	12ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。